

# INTEGRATED REPORTING <IR>

## IIRC ニュースレター 9月号

### 市場は、IIRCの新CEO Richard Howittの 任命を歓迎

IIRCの次期CEOにMEP（欧州議会）のメンバーであるRichard Howittを任命という発表には、世界中の市場のシニアリーダーの皆様から歓迎の声をいただいている。Howitt氏は、2016年11月1日をもって現職のPaul DruckmanよりCEOを継承し、それとともないMEPメンバーを辞任することになる。

Richard HowittはMEPの一員として、20年以上にわたり、企業の情報開示における最大の改革として世界中で知られる、EUの非財務情報ディレクティブ構築に携わってきた。同氏は長年にわたり、社会的責任を含む、企業報告に関する諸問題の「rapporteur（報告担当者）」を務めてきた。また、5年間にわたり、政策立案者および企業コミュニティ内で統合報告の推進にあたる、自主的な「IIRCアンバサダー」も務めた。

IIRCのCEO就任にあたり、Richard Howittは以下のコメントを寄せている。「欧州とは、私にとって、20年以上にわたり、国際的な企業や投資家、政策立案者、その他のステークホルダーの皆さんと接触する機会を提供してくれた主要な国際的イニシアチブやプロセスに影響を及ぼすためのプラットフォームとなっています。こうした経験を、真に国際的な役割に活かせることは素晴らしい特権であり、IIRCのようなダイナミックかつ実効性の高いチームに参加できることに興奮しています。」

当評議会のステークホルダー調査に回答をお寄せくださった皆様に感謝申し上げます。当評議会では、皆様からの500を超える回答をいただきました。この調査と回答を通じ、当評議会は素晴らしい洞察を得ることができましたので、近い将来その成果を皆様にお伝えする予定です。

ACCA、IAAER  
およびIIRCからの  
新たな報告書：

株主総会利用者の  
情報ニーズ：  
『統合報告』の  
有用性の活用

ならびに

『統合報告作成者および  
監査法人の  
重要性判断に影響を  
及ぼすファクター、  
および『統合報告』  
における簡潔性

「各国の経済・企業・社会・環境に害を引き起こし、不確実性とボラティリティによって私たちの資本市場を悩ませてきた短期的なリスクの蔓延に対し、『統合報告』こそ、ひとつの、最良のグローバルな解毒剤となることを、私が確信を持って断言できるのは、こうした経験の賜物です。進歩から見放されたロスト・ジェネレーション（失われた世代）になるなどという代償を私たちは喜んで受け容れるべきではありません。」

「私はこの統合報告推進という役割について、企業・資本市場・社会に新たな取引を提供するための、よりハイレベルな企業の透明性やガバナンス、報告に取り組んできた20年の集大成であると感じています。Paul Druckman は私のよき友人であり同僚であり、私は過去5年間に彼が発揮したリーダーシップに敬意を払っています。彼が今後とも積極的に私たちの活動に貢献してくれると私は確信しています。」

## 中国で開催された G20 首脳会合は技術革新および 包括的・持続的発展を優先

中国で開催された G20 首脳会合では、2016 年 9 月 6 日に杭州で発表された同会合の結論の核心として、「現在およびこれからの世代」に向けた包括的な成長の実現、および新たな価値創造ソースの認識を掲げた。それは、国際会計士連盟が、G20 首脳たちに「『統合報告』の促進」と「『国際統合報告フレームワーク』のグローバルな活用への呼びかけ」を促した結果であった。

「新産業革命」や包括的ビジネス、および革新的成長に向けた一連の行動計画と青写真を発表した未来志向のコミュニケーションの中で、G20 首脳は、新たな成長ドライバーを触媒としつつ、国際的な経済協力を強化する野心的な計画のマッピングに努めた。

中国は議長国としてグリーンファイナンス市場の創出を重要な優先事項としているが、G20 首脳は「情報の非対称性」がグリーンファイナンス市場の規模拡大の重要な障壁となる

2016年12月6～7日、  
ロンドンにて  
開催予定の  
「ICGN-IIRC  
カンフェレンス」に  
今すぐ  
ご登録ください。

Liberty Holdings,  
Anglo American  
および Barclays  
Africa Group  
各社の統合報告書が、  
EY の  
「統合報告アワード  
2016」で  
優秀賞を受賞。

IAASB  
「統合報告作業部会」  
より  
ディスカッション・  
ペーパーがリリース  
されました：  
  
「新たな外部報告の  
形式における信頼性と  
信用のサポート：  
保証契約に向けた  
10 項目の主要課題」

可能性を認識している。G20 が締結した協定において、金融および環境リスクに関する知識の共有の重要性が指摘された。

IIRC が掲げているいくつかの優先事項の重要性は、G20 首脳によりあらためて認識されたが、とりわけ、技術革新の潜在的生産性および新しいアイデアを創造する人々を育成・強化するための人的資本および知的資本を重視するメカニズムに、より多くの焦点があてられた。サミット期間中、すべての市民のために働く包括的資本主義を奨励し、経済的成功に貢献する要因の範囲を拡大するというアイデアが、数カ国の首相および大統領により提起された。

より透明かつ実効性のある経済の一環としての「統合報告」採択への支援については、IFAC が G20 に提言した出版物「Trust and Integrity: The Accountancy Profession's call for action by the G-20 (『信頼と誠実：G-20 による会計職の行動の呼びかけ』)」の中で詳述されている。同著は、ガバナンス強化およびグローバルな規制環境の創出を通じ、持続的な成長を強化するよう G20 に呼びかけている。また、民間企業および公共事業セクターにおける信頼性と整合性の強化につながる強力なガバナンスに向けた諸条件の創出を G20 に促している。IFAC は、「統合報告」こそ、これらのより優れた諸条件を達成するための重要なモデルであり、統合報告の採用によって「グローバル経済のより高い透明性と実効性」が可能になると述べ、「こうした重要な目標を世界規模で達成すべく、今こそ IIRC のフレームワークを活用すべき時である」と結論づけている。

IIRC は、B20 タスクフォースへの参加を通じ、過去 3 年間 G20 プロセスに貢献してきた。当評議会は、リーダーシップのバトンが 2017 年にドイツへ、翌 2018 年にはアルゼンチンへ手渡される際にも、この参加を継続する。

## 財務がすべて、ではない！

今月 PwC (プライスウォーターハウスクーパース)、およびマレーシア勅許公認会計士協会機関から発行された 2 冊の出版物は、投資家たちが従来の財務報告書を超える報告書

を探し求めているという確かな証拠を示している。

PwC は、IIRC との協働により、投資専門家たちに対し実施したインタビュー集をリリースし、その中で彼らが投資の意思決定を行う際に、より多様な要因を活用していることを実証した。これらのインタビューは、投資家たちが求めている情報とは、より多量な情報ではなく、より関連性が高く、統合的な情報であることを明らかにしている。とりわけ、ビジネスモデルに明瞭にリンクした情報や、企業の価値創出方法や、リスクと機会の管理方法を示す情報が求められている。

Hermes EOS の金融サービス部門長 Roland Bosch 氏は、以下のように語る。「『統合報告』は企業が長期的に価値を創出する方法をどのように考えているかを明らかにしてくれますので、本当に重宝しています。そこには、顧客や従業員、あるいはサプライチェーン全体に関連するステークホルダーであるなしにかかわらず、きわめて広範囲なステークホルダーのケアに失敗した企業の多数の実例があります。その失敗の結果、現実の風評被害や、株主価値の巨額の損失が生じています。『統合報告』は、より全体的な企業の姿を提供してくれますので、投資先企業のリスクを対象化するのに役立つわけです。」

Deutsche Asset Management の取締役会メンバー、Christian Strenger 氏は、「優れた『統合報告』を作成する鍵は、その報告が良質なマネジメントと優れたガバナンスを反映していることです。株式市場は、より透明性の高い銘柄に対しては、より高額な投資や、魅力的なデットファイナンスおよびエクイティファイナンスの提供というかたちで報いてくれるのです。」と述べている。

APG のファンダメンタル投資部長 Herman Bot 氏は、「統合報告により、企業が自社の戦略を、市場と自社のビジネスモデルというコンテキストで立案することを可能にし、それを主要な財務および事業業績にリンクさせることを可能にしてくれるという意味で有益なのです。統合報告は、企業にとってひとつの優れた出発点を提供してくれます。もし御社が財務数値だけに囚われてしまうと、御社のさまざまな思考を財務業績以外の要素との関連の中でコンテキスト化する

ことが困難になってしまいます。弊社の関連業界スペシャリストのひとりが、外部から御社の内部に入りそれをコンテキスト化することも可能かもしれませんが、その場合でも経営者の思考過程を知ることは大いに役立ちます」とコメントしている。

マレーシア会計士協会（MIA）および勅許公認会計士協会（ACCA）が300社を超える報告書作成担当者と利用者を対象に調査した結果を発表しているが、それによれば、彼らの61.8%が「統合報告の使用により、マレーシア企業がより魅力的な投資対象となる」と確信している。

## 「『統合報告』事例データベース」に追加された新しい報告書の抜粋

IIRC 評議会チェアマン Mervyn King 教授は、「持続可能『統合報告』事例データベース」には、毎月新たな事例が追加されているが、それらには、「統合報告」の新たな実践例が含まれており、さまざまな組織が報告実践をどのように進化させているかを示してくれる。最近追加された報告書の中には、JLL、Coca-Cola Hellenic Bottling Company、および Itau Unibanco などの事例が含まれている。

JLL の 2015 年度アニュアルレポートの例を掲載したのは、同社のリスクと機会に対するアプローチをご参考にさせていただくためである。JLL は事業の持続可能性に短期的にも中長期的にも影響を及ぼす可能性があるメガトレンドについて、ストーリー仕立ての解説と図表の両方を用いて簡潔に説明している。特に、その図表は、6つの資本それぞれについて重大な影響をおよぼすさまざまなメガトレンド、および、組織がそれらに直面し戦略、および/または、事業で行った活動について概説している。

Coca-Cola Hellenic Bottling Company の「2015 年統合報告書」のアプローチでは、戦略と資源配分をデータベー

ス内で強調表示している。「戦略的フレームワークを勝ちとるための行動」と題されたセクションでは、同組織の報告プロセスのベースとなっている4つの戦略の柱、業績の測定材料となる4つの戦略目標、および事業の成功を可能にする2つの「Enabler (目標達成手段)」について簡潔に解説している。

さらに、ひとつの図表によって、各戦略に関連して実施された活動について説明し、時間の経過の中で価値創造を維持するために、それらがどのように相互に関係し合っているのかを説明している。また、次のセクション「当社の戦略および主要業績指標 (KPI)」（P14 ~ 15）の図表は、戦略目標の達成度を以下の4指標により概説している。1) 使用するKPIの種類と計算方法、2) 価値を創造し続ける組織の能力に影響を及ぼす主要な事象、3) 前年度と当年度の業績結果の比較、4) 達成した業績に基づく将来の計画。併せてこれらの成果を下支えする目標達成手段と価値も提示されている。

「統合報告」に取り組むさまざまな産業セクター、地域、年度ごとのさまざまなアプローチから、258以上の事例を紹介している。また、世に認められた報告書を紹介するセクションもあり、ここでは各賞の授賞対象となった報告書を発行した組織を紹介している。当ニュースレターの読者の皆様も、こちらより、データベースへの掲載候補作品となる報告書を推薦することが可能です。

## 「統合報告」能力の構築

IIRC の Enrique Torres は、「統合報告」トレーニングプログラムの開始から8カ月が経過した現在地点を観察している。

IIRC では、さまざまなプログラムを「トレーニングパートナー」の皆様提供すべく、2015年12月に、「『統合報告』トレーニング」プログラムを開始した。「『統合報告』トレーニング」は、「『統合報告』コンピタンス・マトリックス」（組織が「統合報告」を採用し、その利益を実現するのに必要な知識・スキル・行動規範を示す能力一覧）からの学習

成果に基づき実施される。「『統合報告』トレーニング」は、IIRC が選択した「トレーニングパートナー」による地域慣行および要件に合わせ、多種多様なコンテキストに適用される。

IIRC は、「『統合報告』トレーニング」プログラムを提供する「財団パートナー」となっている以下の組織との協力を大きな期待を寄せている。

- ・ ACCA
- ・ BSD Consulting およびその協力先 University of Stellenbosch ビジネススクール
- ・ Black Sun
- ・ Boston College (Corporate Citizenship センター)
- ・ Enact Sustainable Strategies
- ・ Grant Thornton
- ・ KPMG Australia とその協力先 University of New South Wales、および Deakin University

IIRC では 2016 年末までに、さらに 10 ~ 14 組織が「『統合報告』トレーニング財団パートナー」として加入していただけるものと予想している。加えて、最初に承認された「『統合報告』トレーニングコース」が 2016 年 9 月に開講される予定。グローバルおよび各国において専門的な研修プログラムを提供し、「統合報告」採用を可能にするスキルを個人が取得・強化する支援を行っている先端組織を迎え入れることは、IIRC にとって重要な節目となる。

IIRC のウェブサイトでは、現在の「『統合報告』トレーニング財団パートナー」に関する詳細情報を掲載しており、そのページで財団パートナーが「『統合報告』トレーニング」を提供している。



Website

Twitter

LinkedIn

YouTube

Contact: [juliet.markham@theiirc.org](mailto:juliet.markham@theiirc.org)

Copyright © 2016 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.  
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)